

INFORMATION Book

中央公民館
図書室からの
お知らせです。

ほん 大好き



中央公民館図書室 ☎42局7200番

今月新しく入りました。

●一般の本

／私の好きな日本人（作＝石原慎太郎）／モニター
ルーム（作＝山田悠介）／チェーン・ポイズン（作
＝本多孝好）／永遠の七日間（作＝マルク・レヴィ
訳＝藤本優子）／儂い羊たちの祝宴（作＝米澤穂信）
／ファミリーポートレート（作＝桜庭一樹）／華族
夫人の忘れもの（作＝平岩弓枝）

●子どもの本

／ねぎぼうずのあさたろう その1～その3（作＝
飯野和好）／おでんおんせんに行く（作＝中川ひろ
たか）／ストーブのふゆやすみ（作＝村上しいこ）
／キッパーのゆきだるま（作＝ミック・インクペ
ン訳＝角野栄子）／ともだちは海のにおい（作＝工藤
直子）／ともだちは緑のにおい（作＝工藤直子）

中でもこの本がお勧めです。

天地人（上・下）

作＝火坂雅志



戦国乱世は、人々が「利」によつて動いた時代である。しかし、北の大地に「義」のために生きる漢（一人前の男）がいた。直江山城守兼続。上杉家の家老でありながら豊臣秀吉を魅了し、徳川家康を畏怖させた傑物である。謙信から受け継いだ「義」の心を変転激しい時流の中で、しなやかに発展させた兼続は、やがて仁愛の境地に達する。その苦闘と栄光の生涯。

3びきのゆきぐま

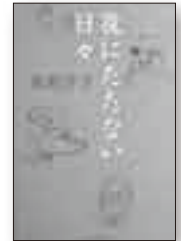
作＝ジャン・ブレット



好奇心いっぱいのイヌイットの少女と、気のいいゆきぐまの家族の「3びきのくま」のお話です。細部まで丁寧に描かれたイラストが美しい。読み聞かせにぴったりの楽しい絵本です。



サマータイム
作＝佐藤多佳子



役に立たない日々
作＝佐藤洋子

素 直でまっすぐな進、勝気な佳奈、少し大人びた広一が織りなす物語。お互いに自分の中にはない相手の個に触れ合いながら自分を探している。交通事故で左腕を失い右手でピアノに向かう広一。ハンディをもちながらすべてを受け入れて

そ の折々、身の回りでの感じたことを気持ちよく描くエッセイ。見栄を張らず、好きなものは好き、嫌いなもの（人）は嫌い、腹の中をさらけ出して生きる生き方。「余命二年」との担当医からの診断。「私」の癌がストレスになってないの

自然に、そしてタフに生きていく姿。リズムカルで軽やかに物語は流れていく。日の光にキラキラ輝く川底の砂を思わせるようなフレーズがいたるところにあふれている。全編に広一が片手で弾く「サマー・タイム」の曲が流れているように。

……。たぶん命って、自分のものじゃなくて、周りの人のためのものだと思う……。とにかくおもしろい。笑いで、そして唸る。痛快で胸にこたえる。真似は出来ないが、実に羨ましく思う。佐藤洋子さんのエッセイ集を読むと元気が出てくる。



春の桜、夏の海、秋の紅葉、冬の雪……。美しい四季が体感できるのは日本人の特権。そんな私たちがだからこそ、読みたくなる「旬」の本があります。シリーズ「旬の本だな」。1月は「生きる」をテーマに二冊の本をご紹介します。紹介者は矢野百合子さん（いずみ読書会）です。

／1月の休館日は、1日（祝）から3日（土）までと、7日（水）です

／開館時間は午前9時から午後5時までです／返却期限が過ぎている本は、至急ご返却ください

Dr. 仲野の

調子はいかが？

町立病院 ☎42局1231番

町立病院スタッフ
からの健康
アドバイスです。



会社の健康診断で便潜血・陽性を指摘されました。痔からの出血ではないかと思うのですが心配です。どうすればよいでしょうか（43歳・男性）

【大腸癌は第3位】

近年、日本は食生活の欧米化（肉類を中心とした高たんぱく・高脂肪）に伴い、大腸癌による死亡者数が急増。厚生労働省の統計によると、平成19年の日本人の死因の約3分の1は癌で、このうち男性の大腸癌の死亡者数は10年前の約1.2倍となり、1位の肺癌、2位の胃癌に次いで多い癌となりました。女性ではすでに平成15年から大腸癌が1位になっており（2位は肺癌、3位は胃癌）、その早期発見と早期治療の重要性が年々高まりつつあります。

【大腸癌の症状と検査法】

初期の大腸癌にはほとんど自覚症状がないので、早めの発見には検診が不可欠です。一般的には、まず便潜血検査を行います。癌組織は正常な粘膜に比べてもろく、わず

かな刺激でも出血しやすいので、便との接触で腫瘍が損傷したときに出る、ごく微量の出血を検出する検査です。他の検査と違い、浣腸や下剤を使用しないので簡単にできるのですが、問題点もあります。

ひとつは、大腸に出血性の病気があっても陽性となる確率が80%程度であること。また、大腸癌の前癌病変である大腸ポリープ（大腸の内壁にできるきのこ状・いぼ状の腫瘍）の場合は、その大きさが1センチ以内だと検査結果が陽性とならない確率が高くなります。さらに便潜血検査は、消化管に胃・十二指腸潰瘍、胃癌、胃炎、大腸炎などの出血性の疾患があれば検査が陽性になることがあります。そのうちのどんな病気であるのか特定できません。

にはいろいろと問題点がありますが、消化管の出血を調べるといふ点では有効な検査です。ただし、この検査だけで癌の有無を特定できないのでレントゲン検査や内視鏡検査などの精密検査が必要になります。また、痔からの出血と自己判断をして検査を受けず、大腸癌の発見が遅れたという事例もありますので注意してください。

【潜血の症状】

便潜血検査が陰性でも、次のような症状のある人は大腸内視鏡検査をお勧めします。

- ① 便の表面に血液が付いている。
- ② 下着が血液混じりの粘液で汚れる。
- ③ 便意があるのに、便が出ない。
- ④ 便が細くなったり、下痢や便秘を繰り返す。

⑤ いつも便が残っている感じで、一日に何回もトイレに行きたくなくなる。
症状もなく、便検査で潜血が認められない場合でも大腸の病気がないとはいえません。便潜血が陰性の場合にも小さいポリープが潜んでいたり、大腸癌の中には潜血反応の出ないものもあります。大腸癌は、早期発見できれば治る確率はとても高く、内視鏡での切除や外科手術によって治すことができます。症状が少し進行しても手術ができる時期であれば、ほかの臓器へ転移しているものも含め外科手術で治すことも期待できます。大腸癌は発見が早いほど、比較的治しやすい病気です。40歳以上の人は定期的な大腸内視鏡検査をお勧めします。



【アドバイザー】

仲野 秀さん・なかのしゅう 昭和61年産業医科大学医学部を卒業後、東北労災病院や産業医科大学病院、三菱化学黒崎工場付属病院、門司労災病院、北九州市立戸畑病院勤務を経て、平成14年4月から町立病院外科に勤務。47歳。

便潜血検査の結果では病気を特定できません。40歳以上の人は定期的な大腸内視鏡検査をお勧めします。